遠野市過疎地域持続的発展計画（R3～R7年） 令和3年度指標目標実績

達成率の欄が　の指標は、実績値が目標値より低い場合に達成となる指標です。

各分野の方向性	No.	まちづくり指標		現状	年度別目標と実績						R3年度		成　果　・　評　価	担当課
		指標名	単位	(R1年度)	区分	令和３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	達成状況	達成率※		
1 移住・定住 、 地域間交流 及び 人材育成の推進 （４指標）	1	移住者世帯数	世帯	11	目 標 値	10	10	10	10	10	達成	170.0	２年ぶりにリアル開催されたふるさと回帰フェアへの参加や、リモート開催された岩手県及び県南広域振興局が主催するセミナー等に参加するなど、「で・くらす遠野」として常に移住希望者のワンストップ窓口を心がけ、近隣自治体や関係団体と広域的な連携で取り組んだほか、「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを活用し積極的に情報発信した結果、令和３年度の相談件数は延べ72件、17世帯31人の移住につながった。 今後も、移住セミナーに積極的に参加するとともに、ホームページ等での遠野の魅力発信、リフォーム事業助成金等の利用促進など、移住定住に向けた取組を展開していく。	観光交流課
					実　　績	17								
	2	で・くらす遠野ホームページ訪問者数	人	36,584	目 標 値	37,000	38,850	40,700	42,550	44,400	概ね達成	93.0	令和２年12月にホームページをリニューアルした際に、一時的にホームページを閉鎖したことにより訪問者数が減少したが、令和３年度にインスタグラムなどのＳＮＳを活用して効果的な情報発信を行うことにより訪問者が徐々に増加し、目標は概ね達成された。 なお、空き家バンク登録物件を確認する訪問者も多いことから、閲覧数は16万件で令和元年度比では約200%の増加となっている。 今後も、市の魅力発信や移住制度情報等の発信に努め、ホームページ訪問者数の増加につなげていく。	観光交流課
					実　　績	34,397								
	3	交流事業参加者数	人	3,376	目 標 値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	未達成	40.2	令和２年度に引き続き、友好都市をはじめとする交流市町村等との相互交流事業が中止となったことから、目標を達成することができなかった。 令和３年度は、コロナ禍の影響を受けにくいカタログギフトの送付や物産フェアを実施し、また、友好都市である菊池市・西米良村とはリモートによる交流会を実施した。 今後も、相互交流の在り方を検証しながら、友好都市及び交流市町村等との絆を深め、交流人口の拡大を図っていく。	観光交流課
					実　　績	1,207								
	4	中学生の海外派遣数	人	9	目 標 値	9	9	9	9	9	未達成	0.0	姉妹都市であるアメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市へ、市内の中学生９名を派遣することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により事業が中止となった。 今後も外国人との意思疎通を図る機会の提供などにより、グローバルな視野と感覚をもつ人材を育成し、多文化への理解の定着を図る。	生涯学習スポーツ課
					実　　績	0								
2 産業の振興 （５指標）	5	農業生産額（耕種）	千万円	269	目 標 値	271	272	273	274	275	未達成	86.3	新型コロナウイルス感染症の影響により米や野菜の価格が全般的に安値で推移し、生産額が減少となった。加えて、霜被害や雹被害もあり、野菜、果樹、工芸作物等の収量減少の要因となった。 今後も生産者の維持、栽培面積の確保に向け、遠野市売れる農畜産物生産支援事業を活用し、地域特性をいかした園芸品目（野菜や花き）、工芸作物等の新規導入や生産面積拡大等に対する支援を行い農家所得の向上に努めていく。	畜産園芸課
					実　　績	234								
	6	農業生産額（畜産）	千万円	402	目 標 値	400	405	410	415	420	概ね達成	95.5	国事業を活用した増頭対策や、前年に比べ子牛市場の取引価格が回復傾向にあることなどから、生産額は目標値を概ね達成したものの、黒毛和牛の子牛市場への上場頭数の減と、市場価格がコロナ前まで戻っていないこと、さらには、乳用牛での生乳出荷量が減少しているため、販売額が伸び悩んでいる。 今後も、生産体制の維持・向上に向けた支援に取り組む。	畜産園芸課
					実　　績	382								
	7	森林整備面積（年間整備面積）	ha	484	目 標 値	490	490	495	495	500	概ね達成	90.5	民有林については、国の森林整備事業を活用しながら森林整備の推進を図ってきた。そのうち、私有林については、遠野地方森林組合が森林所有者に働きかけを行っているほか、市独自事業として①市の嵩上げによる91%補助、②山林からの木材運搬に対する助成を行っており、森林整備を推進している。 令和３年度は、忌避剤の原料の輸入ができなくなり大幅に散布の面積が減少した。そのため、目標値の達成には至らなかったが、それ以外は概ね計画を実行することができた。 今後も遠野地方森林組合などの関係機関と連携し、森林整備を進めていく。	農林課
					実　　績	443.5								
	8	市内法人数	社	663	目 標 値	650	651	652	653	654	概ね達成	96.8	新型コロナウイルス感染症経済対策として、遠野商工会や関係機関と協力して事業継続支援に取り組んだものの、法人数は減少傾向が続いている。 今後も人口減少の進行による地元消費市場の縮小と、それに伴う法人数の減少が懸念される中にあって、既存企業の事業継続、事業転換、創業支援等の充実化を図る必要がある。	商工労働課
					実　　績	629								
	9	道の駅利用者を含む観光客入込数	万人	167	目 標 値	169	178	186	188	189	未達成	71.0	東北デスティネーションキャンペーンによって、観光客の入込を期待する年度であったが、新型コロナウイルス感染症による２度の岩手緊急事態宣言の発令や市内での感染者数増加、イベントの中止などにより目標達成とはならなった。 しかし、道の駅「遠野風の丘」のリニューアルやＳＬ銀河の運行、市内経済対策等の効果により、対前年度比では約21%の増加とすることができた。 令和４年度においては、感染症対策を徹底した中でのイベント再開やＳＬ銀河運行、７月から３か月間実施される北東北三県大型観光キャンペーン、市内観光施設での観光メニュー造成等を追い風とし、観光客入込数の増加に取り組んでいく。	観光交流課
					実　　績	120								

各分野の方向性	No.	まちづくり指標		現状	年度別目標と実績						R3年度		成　果　・　評　価	担当課
		指標名	単位	(R1年度)	区分	令和３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	達成状況	達成率※		
3 地域情報化の振興 （２指標）	10	ケーブルテレビ加入率	%	85.5	目標値	85.5	85.6	85.6	85.7	85.7	概ね達成	98.9	遠野テレビ放送番組審議会をはじめ、加入者の声や地域ニーズを広く収集し、視聴者に楽しんでもらえる魅力ある番組づくりに努めながら、定期的な新聞折込や市民課窓口での転入者に対するチラシ配付により、遠野テレビの加入促進を図った。 その一方で、遠野市ケーブルテレビＦＴＴＨ化整備工事に合わせて、長期間休止となっている世帯に対し、今後の利用についての意向確認を行い、希望に応じて解約手続きを行った。その結果、新規加入は80件あったものの、解約が211件となり、全体加入率では目標値を0.9ポイント下回った。 今後は、市内全域光化となった基盤を活かして、新たなサービスの提供に努めるほか、きめ細かなサポートを充実させ、加入促進に努める。	情報推進課
					実績	84.6								
	11	遠野テレビインターネット加入率	%	35.1	目標値	35.6	36.6	37.8	39.0	40.0	達成	107.6	インターネット利用者の増加に伴い、上位回線使用量も上限に達する頻度が多くなったことから、これまでの２GBから５GBに回線容量を増加し、加入者がストレスなく利用できる環境を整備した。 また、遠野市ケーブルテレビＦＴＴＨ化整備工事に合わせて、遠野市ケーブルテレビ放送施設条例の一部改正を行い、インターネットメニューに、Ｅ及びＦの２つの上位コースを追加し、法人や大口利用者の高速・大容量のニーズに応じた、利用しやすい環境を整えた。 加入促進については、インターネット未加入世帯に対して、ダイレクトメールの発送や個別の電話勧誘を行った結果、前年度に対して117件の増となる310件の新規加入実績となり、目標値を2.7ポイント上回ることが出来た。 今後も、未加入世帯に対する加入促進を進めながら、新規加入者の確保に努める。	情報推進課
					実績	38.3								
4 交通施設の設備、交通手段の確保 （２指標）	12	市道改良率	%	48.5	目標値	48.5	48.5	48.6	48.6	48.6	達成	100.2	市道上柳大袋線ほか１路線616mを改良したことにより、全延長1,300kmのうち改良済延長は631.2kmとなり、目標を達成することができた。 今後も「生活に身近な道づくり事業第６期計画（令和４～８年度）」に基づき、市道改良工事を促進していく。	建設課
					実績	48.6								
	13	市道舗装率	%	44.9	目標値	44.9	45.0	45.0	45.0	45.1	達成	100.2	市道上柳大袋線ほか１路線676mを改良したことにより、全延長1,300kmのうち改良済延長は584.5kmとなり、目標を達成することができた。 今後も「生活に身近な道づくり事業第６期計画（令和４～８年度）」に基づき、市道改良工事を促進していく。	建設課
					実績	45.0								
5 生活環境の整備 （４指標）	14	水道管路の更新延長の累計（５年間）	m	25,755	目標値	6,540	12,218	19,142	26,146	33,700	未達成	79.8	令和３年度の水道管路の更新延長は、目標値 6,540mに対し、 5,220mで未達成となった。 達成できなかった理由としては、水道施設耐震化事業において、遠野東工業団地への水道の供給を優先したため、令和３年度に計画していた管路の更新工事を縮小し、青笹第２配水池築造工事を前倒しで実施したことによるものである。	上下水道課
					実績	5,220								
	15	水洗化率	%	66.0	目標値	67.8	68.7	69.5	70.5	71.4	達成	100.0	令和３年度における下水道排水設備計画の確認申請件数は72件（個人50件、事業所等22件）、浄化槽設置整備事業費補助金を活用した個人住宅への合併処理浄化槽の設置基数は43基であった。 令和３年度末の住民基本台帳による総人口25,329人に対し、水洗化設備を使用している人口（水洗化人口）は17,181人で、水洗化率は67.8%となり、目標を達成した。 水洗化に関する啓発活動として、広報遠野や市ホームページで浄化槽の補助制度について周知を図るとともに、公共下水道未接続世帯及び事業所への文書による接続勧奨や、浄化槽未設置世帯への戸別訪問を実施した（これらの取組の実施後、対象区域内の９世帯が水洗化）。 未水洗化世帯から排出される生活雑排水は、河川等の水質汚濁、道路側溝の詰まり、悪臭や害虫の発生など、自然環境や住民の生活環境を悪化させる大きな原因であるが、各汚水処理施設による水洗化率は、公共下水道が89.6%、農業集落排水施設が97.0%である一方、浄化槽は48.1%にとどまっている。 これらのことから、今後も、浄化槽設置整備事業費補助金の活用を重点的に推進し、水洗化率のさらなる向上を図るとともに、水洗化の必要性や重要性に関する啓発活動に努め、市民の生活環境の改善と公衆衛生意識の向上を図っていく。 また、人口減少が進行する中においても、安定した事業運営を継続することができるよう、下水道使用料及び農業集落排水施設使用料の収益確保にも努めていく。	上下水道課
					実績	67.8								
	16	市民一人１日当たりのごみ排出量	g/人・日	876	目標値	859	850	841	833	825	概ね達成	98.8	環境学習会の実施や、広報・遠野テレビを活用したごみの減量及び適正分別の啓発を行った。また、ごみ減量化物品購入に係る費用の一部助成を実施したほか、生ごみの分解処理を行う「キエーロ」の市民モニターを実施し、家庭から出る生ごみの自家処理を推進した。 市民一人１日当たりのごみ排出量は計画値を10ｇ上回ったが、前年からは３ｇ減少しており、ごみの減量に向けた市民への意識啓発が図られつつある。	環境課
					実績	869								
	17	公営住宅整備戸数	戸	－	目標値	－	15	9	11	－			平成30年度に計画を見直した「遠野市営住宅等長寿命化計画」に基づき、宮守銀河市営住宅及び穀町市営住宅の整備を進めた。 令和３年度は、令和４度からの新築工事の実施に向け、両市営住宅の基本設計及び実施設計を行った。また、宮守銀河市営住宅の敷地整備工事の実施とともに、地区住民の代表を対象に事業計画の説明会を開催し合意形成を図った。今後も同計画に基づいて適切な管理戸数を目指し、更新時期を迎える設備や家屋の大規模修繕や建替えを行い、維持管理していく。	建設課
					実績	－								

各分野の方向性	No.	まちづくり指標		現状	年度別目標と実績						R3年度		成　果　・　評　価	担当課
		指標名	単位	(R1年度)	区分	令和３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	達成状況	達成率※		
6 **子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上並びに増進** **（４指標）**	18	合計特殊出生率	—	1.68 （H30実績）	目標値	1.74	1.76	1.78	1.80	1.80	概ね達成	90.8	合計特殊出生率は、1.58（令和２年度）で目標に対し、0.16下回る結果となった。岩手県の1.49.を上回っているが、依然として少子化傾向が続いている。 助産院ねっと・ゆりかご推進事業、幼児教育・保育無償化に伴う副食費助成や学童保育の無償化、ファミリー・サポート・センター事業など、安心して産み育てられる環境づくりのため、妊娠から出産、子育てまで、切れ目のない支援を継続していく。	子育て支援課
					実績	1.58								
	19	「住民主体の通いの場」の実施グループ数	カ所	5	目標値	15	25	30	35	40	達成	106.7	保健推進員や民生委員、既存団体、地域の集会等で「いきいき百歳体操」を活用した住民主体の通いの場についての説明や講話、遠野テレビや地区広報等で介護予防の普及啓発を行うとともに、コロナ禍の中、感染症予防対策を徹底しながら新規取組団体の募集や立ち上げ支援、定期支援を行うことで目標値を達成することができた。 今後も、住民主体の通いの場のさらなる拡大・拡充を図るとともに、リハビリテーション専門職等の助言や技術的支援をいかし、従業者の技術及びプログラムの質の向上を図る。	健康長寿課
					実績	16								
	20	福祉施設から地域生活への移行者数	人	0	目標値	2	2	2	2	2	達成	150.0	令和３年度は福祉施設から地域生活への移行者数が３名となり、目標値を上回る結果となった。内訳として精神科病院からの移行が２名、自立訓練施設からの移行が１名だった。 精神科病院においては入院中からケースワーカーが退院後の生活を見据えた支援を行い、関係機関との連携構築を図っており、障がい者本人が望む生活の支援に努めている。 障がい者の地域移行を推進するためには、既存のサービスだけではなく、障がい者と地域住民の相互理解を前提とした見守り支援等、障がい者が安心して暮らせるよう地域住民に協力してもらうことも考えていく必要がある。 そのために地域自立支援協議会において、地域課題を抽出・検討するほか「井戸端会議」等を通じて当事者団体と意見交換を行い、障がい者の望む生活の実現に努めていく。	福祉課
					実績	3								
	21	ＩＣＴ健康づくり事業参加者数	人	1,279	目標値	1,800	1,900	2,000	2,100	2,100	未達成	82.1	目標値には及ばなかったものの、新規参加者は217人、継続率は85.6%と高い水準であった。国民の７割を占めるとされる健康無関心層が健幸ポイントによるインセンティブ（動機付け）をきっかけに、無関心から健康維持へと行動変容できている。 地域での計測会や運動教室、市内11の事業所と協働した働き盛り世代への健康支援、健幸アンバサダー養成、地元商店街や観光施設と協働したウオーキングイベント等の実施により、市民の健康意識の向上に努め、健康寿命の延伸、医療費及び介護給付費の抑制、地域経済の活性化に寄与している。 今後も市民の健康づくりを応援するとともに、ポイントの経済活動利用により地域の活性化に努めていく。	健康長寿課
					実績	1,477								
7 **医療の確保** **（１指標）**	22	妊娠・出産について満足している者の割合	%	91.1	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	概ね達成	96.5	母親の不安が高まりやすい産後において「助産師や保健師から十分なケアを受けることができたか」についてアンケート調査を行った結果、「支援を受けることができ満足している者」の割合は91.7%（109人中100人）であり、目標値をやや下回ったものの、９割以上の者が満足している状況であった。 今後も助産師等による妊娠期から子育て期における切れ目ない支援を継続し、出産後の母親の身体的回復及び精神的不安を軽減するため、きめ細かい支援を実施していく。特に宿泊施設を利用した助産師による産後ケア事業の拡充と利用促進を図り、妊娠・出産についての満足度を引き上げていく。	保健医療課
					実績	91.7								
8 **教育の振興** **（５指標）**	23	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	51.2	目標値	52.1	52.1	52.2	52.2	52.3	概ね達成	96.2	令和３年４月に実施した小学校全国標準学力検査の結果は、目標値には2ポイント届かなかったものの概ね達成している状況であり、前年度同様に全国標準を上回る状況となっている。 教科ごとの結果をみると、４教科中「国語」は全国標準を上回る結果であり、「算数」も全国標準まであと0.2ポイントの数値となっている。「社会」「理科」は全国標準を下回っており、特に「社会」は全国標準との差が大きい。 令和４年度以降については、遠野市教育研究所で策定した学力向上アクションプランを基に、ＰＤＣＡサイクルによる授業改善と、アシストシートやＩＣＴ端末を活用した個別最適化された家庭学習の取組の充実を図るとともに、学校の組織的な取組の支援を推進することにより、確かな学力の育成を図ってい	学校教育課
					実績	50.1								
	24	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	48.8	目標値	48.8	48.8	48.9	48.9	49.0	概ね達成	99.6	令和３年４月に実施した中学校全国標準学力検査の結果は、目標値には届かなかったもののその差は0.2ポイントであり概ね達成している状況である。 教科ごとの結果をみると、５教科全てにおいて全国標準を下回っており、特に「英語」は全国標準との差が大きい。 令和４年度以降については、遠野市教育研究所で策定した学力向上アクションプランを基に、ＰＤＣＡサイクルによる授業改善と、アシストシートやＩＣＴ端末を活用した個別最適化された家庭学習の取組の充実を図るとともに、学校の組織的な取組の支援を推進することにより、確かな学力の育成を図っていく。	学校教育課
					実績	48.6								
	25	市民センター等の生涯学習講座の延べ受講者数	人	5,254	目標値	4,800	4,800	4,850	4,850	4,900	未達成	45.5	関係団体と連携し、生涯学習・社会教育講座を開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響から大規模な講座の開催見送りや、定員を減らしたうえで講座を開催したことから、目標値を達成することができなかった。 今後も、これまでどおり新型コロナウイルス感染症に配慮しながらも、新しい技術を活用したウェビナーでの開催など、住民の主体的な参画による社会教育の実現に向けて取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課
					実績	2,186								

各分野の方向性	No.	まちづくり指標		現状	年度別目標と実績						R3年度		成　果　・　評　価	担当課
		指標名	単位	(R1年度)	区分	令和３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	達成状況	達成率※		
８ 教育の振興 （５指標）	26	市民一人あたりの平均貸出冊数	冊	2.7	目標値	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	未達成	89.3	利用者のニーズに沿った図書の選書の充実、図書館だより「おしらがみ」、市広報及び遠野テレビを活用した図書情報の提供し、読書推進による貸出冊数の拡大に努めたが、新型コロナウイルス感染状況に伴う利用者の減少による影響もあり、貸出冊数が伸びず、目標の達成に至らなかった。 今後も利用者の声を反映したサービスの提供、広報活動による図書の紹介を継続し、より利用しやすい図書館の環境づくりに努め、貸出冊数の増加を目指していく。	文化課
					実績	2.5								
	27	スポーツ施設利用者数	人	199,168	目標値	200,000	200,200	200,400	200,600	200,800	未達成	77.6	新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツ少年団及び部活動等の活動制限や公共施設の利用停止などによって利用者数は大きく落ち込み、目標を達成することができなかった。今後も目標達成に向けて、市民やスポーツ関係団体に対して、日頃からの体力づくりやイベント等に活用していただくよう、感染対策を徹底しながら施設利活用を推進する。 施設利用の減少は、コロナウイルス感染拡大を防ぐため学校開放及び生涯学習スポーツ施設の使用を制限したことによるものであり、今後のコロナ感染状況を踏まえながら、町体協、スポ少等、各団体に学校開放及び生涯学習スポーツ施設使用情報について周知していく。	生涯学習スポーツ課
					実績	155,234								
９ 集落の整備 （２指標）	28	みんなで築くふるさと遠野推進事業実施数	事業	157	目標値	160	160	160	160	160	概ね達成	92.5	全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから４年目の取組みとなり、令和３年度の事業件数は前年度と比べて20件増の148件となり、目標を概ね達成することができた。 今後も新型コロナウイルス感染拡大防止と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を図っていく。	市民協働課
					実績	148								
	29	みんなで築くふるさと遠野推進事業参画者数	人	3,963	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	未達成	72.7	全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから４年目の取組みとなり、令和３年度の参画者数は前年度と比べて132人減の2,907人となったが、新型コロナウイルス感染拡大防止と並行しながら、花いっぱい運動や高齢者の見守り活動などを実施することができた。 今後も新型コロナウイルス感染拡大防止と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を進める。	市民協働課
					実績	2,907								
１０ 地域文化の振興等 （３指標）	30	遠野遺産認定件数（累計）	件	159	目標値	162	163	164	165	166	達成	102.5	推薦された新たな５件（五百羅漢、宇迦神社、宝龍大権現、小倉稲荷神社、遠野宮守わさび）を遠野遺産として認定した。今後も、表示板の設置や公式ガイドブックなどにより遠野遺産についての周知を行い、市民との協働で新たな遺産の掘り起こしに努める。また、認定後の遺産の活用を促し、文化的資産の保護・活用を通じた地域づくりを推進する。	文化課
					実績	166								
	31	文化財を保存活用する市民団体等の数	団体	137	目標値	139	140	141	142	143	達成	100.0	遠野遺産等を自転車で巡るサイクリングツーリズム「ちゃりぶら」に取り組んでいるＮＰＯ法人遠野山・里・暮らしネットワークも追加したため、139団体となり、目標を達成することができた。今後も市民団体等との連携により、文化財の保存活用を促進していく。	文化課
					実績	139								
	32	こども本の森遠野入館者	人	-	目標値	10,000	12,500	15,000	17,500	20,000	達成	148.1	令和３年７月25日に開館して以降、14,805人（市内5,603人、県内7,733人（うち沿岸被災地1,217人）、県外1,469人）の方が来館した。今後も遠野だけの施設ではなく、沿岸被災地との文化のネットワークを作る拠点として、また、わらすっこが安心して想像力と創造力を育む居場所として、遠野から世界に文化を発信していく。	こども本の森運営企画室
					実績	14,805								